

キーパーコーティング、愛車を守る。

「キーパータイムズ」vol.79 2009.5.1 FRI

発行所 / アイ・タック技研株式会社  
愛知県大府市吉川町4-17  
TEL.0562-45-5258 FAX.0562-45-5268

発行人 / 谷好通

発行部数 / 19,000部  
(札幌、仙台、東京、神奈川、名古屋、大阪、福岡、広島、福岡)

http://www.sensya.com

キーパーコーティング 検索 ☎ 0120-517-158

無断コピー・複製を禁ず

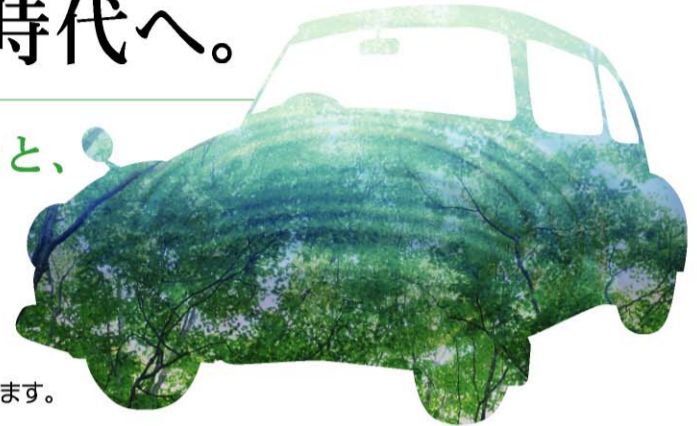


# KeepPre TIMES

## 洗車・コーティングも「ECO」の時代へ。

アイ・タック製品は塗装、コーティング被膜への安全と、「ECO」を強く意識して造られています。

洗剤の環境に対する影響が叫ばれている現代、「手洗い洗車の泡は環境に大丈夫なのか」と、「快洗Jr.」に使われている「パワームース」、「快洗Wing」の「ウイングムース」など、手洗い洗車に使われている「泡」についてお問い合わせをいただくことが多くなりました。これらの製品は「環境」「人体」に対して非常に安全に造られており、安心して使っていただけると先に結論します。ここでその科学的な根拠を述べ、店舗に来られるお客様の心配を解決したいと思います。

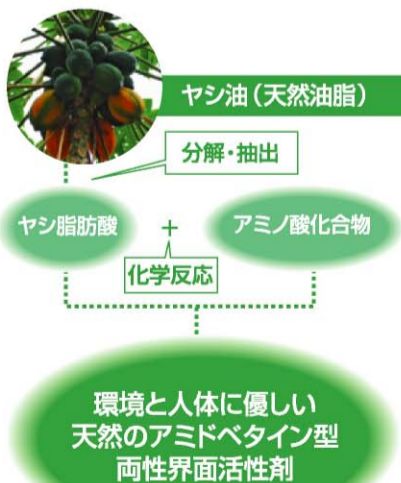


**1** パワームース、ウイングムース、キーパームースなど、手洗い洗車に使用されている「泡」は、自然環境の中で分解される「生分解性」の無公害型の「泡」です。

当社(アイ・タック技研(株))の「泡」には、生分解性の界面活性剤が使われています。この界面活性剤の原料は、ヤシの実から取れるヤシ油で作られています。ヤシ油は大部分C12(ラウリル)のアルキル基を持つトリグリセライド(天然油脂)であり、これを加工して活性剤を製造します。

工程としては、ヤシ油を分解してヤシ脂肪酸とグリセリンに分離します。次にヤシ脂肪酸とアミノ酸化合物を反応させてアミドベタイン型両性界面活性剤が完成します。上記のように、この活性剤は天然のアルキル基で出来ているので土壌、河川、海洋の微生物(バクテリア)が食べることで、非常に効率よく水と炭酸ガスに分解され、無公害となります。

◆アイ・タック製品の「泡(界面活性剤)」の安全性



**2** 人間の体や髪に使っているシャンプーと全く同じ安全性を持っています。

また、アミノ酸のアミド基<sup>※2</sup>を持っているので、人間の皮膚等に安全、マイルドであり、一般には化粧品、シャンプー、ボディーソープ等の原料として使用されています。以上のことより、当社洗剤も環境に優しく、人体に対する安全

性の優れた商品であります。  
(アイ・タック技研(株)化学研究所からの報告)

快洗Jr.のパワームースや快洗Wingのウイングムース、キーパームースで、お客様の愛車を洗うことは、まるで人間が、お風呂で、肌に優しい「シャンプー」や「ボディシャンプー」で洗っていることと同じです。



**3** コーティング施工車にも安心。コーティングを傷めたりしません。

また「コーティング施工済み車」では、シャンプーなどを使わずに「水だけ」で洗うように指示されているものもあり、お客様も「コーティングしてあるから水だけで洗って」とおっしゃる方が多くいます。しかし人間の肌にも全く安全な洗剤で洗っても性能が落ちてしまうようなコーティングが、酸性雨や花粉、黄砂などからお車の塗装を守るのでしょうか。

これは、市販のシャンプーに「スクラブ」というある種の研磨剤入りの製品や、アミノシリコン入りで撥水性を出したり、塗装を傷める種類のアルカリ洗剤入りのシャンプーがあり、これらはコーティングを傷める可能性があるため、全部ひっくるめて「シャンプーは使わないで」と言っているだけです。

当社の手洗い洗車の「泡」は、塗装はもとよりコーティングを傷めるような悪い性質は持っていません。特に「キーパームース」は「泡切れ」の性能を高め、見た目にもお客様に心配をかけない、優れた「コーティング施工車の泡」と言えます。

**4** 「水風呂」だけでさっぱりしますか?やはり、油汚れは適切なシャンプーを使わなくては落ちません。

大気中には「ホコリ」と同時に「ディーゼル

ばい煙」など「油分を含んだ汚れ」が大量に漂っています。道路を走ったあとお車はホコリと油分で汚れていて、いつも「水洗車だけ」で洗っていると、ホコリは取れても油分が残って何となく薄汚れてきます。これは人間が体を洗う時、シャンプーを使わずに水だけで洗っていると全然さっぱりしないのと同じことです。コーティング施工車であっても、水洗いだけで良い訳がありません。

**5** 塗装とコーティングを傷めない適切なシャンプーでの洗車が必要です。

当社の手洗い洗車は、コーティング施工車の洗車としてベストです。コーティング施工車にお乗りのお客様に「コーティングをまったく傷めず、油汚れもすっきりと落ちる手洗い洗車を行っています」と自信を持って、ぜひお勧めください。



上:コーティング施工車専用ムース。コーティング本来のパフォーマンスを最大限に引き出します。  
左下:新パワームース4。独特の泡もちのよさ、きめの細かさで手洗い洗車を効率よくさせます。すばらしい汚れ落とし能力を持ちます。  
右下:ウイングムース。快洗Wingに最適な粘度に調整しました。泡切れも良く、作業性が著しく改善されています。

**6** 高圧スプレーにより、少ない水の量で素早く効率的に洗車しています。

当社は「手洗い洗車」を、効率的かつ高品質に行うために「快洗Jr.」という機械を約8年前に世に出しました。あれから「快洗Jr.2」「快洗Jr.200」「快洗Wing」「快洗Jr.3」と進化、拡張し、今では約4,000台の快洗Jr.シリーズが全国で活躍し、良質な手洗い洗車を世の中に普及した原動力の一つになっています。

「手洗い洗車」は、人の目と手で細かい所まで気配りされた洗車を実現していますが、もう一つ大きなメリットがあります。「水の使用量が少ない」ということです。将来、水の枯渇が予

想されている現代、水を節約できる手洗い洗車はECOに貢献する意味も持っているといえます。

快洗Jr.などで行う手洗い洗車の場合、  
1.高圧水で泥やホコリをザッと落とす(泥・ホコリ落とし)  
2.泡をかけて羊毛モップで車全体をきれいにする(洗車)  
3.泡を水ですすぎ落とす(すすぎ)  
4.車全体の水を拭き上げる(拭き上げ)

大まかにこの4段階で構成されますが、水を使う工程は1と3.だけです。それに対して、洗車機洗車の場合、使用されているブラシが繊維ブラシ・布ブラシ・スポンジブラシのいかなる場合でも、手洗い洗車の2.の段階に当たる「洗車」で、ブラシと車体とのクッションとして大量の水を使います。手洗い洗車の場合は「泡(生分解性)」を使いますが、機械洗車の場合は「水」を使うので、必然的に多くの水を使用することになります。加えて、手洗い洗車の場合は人間が車を見ながらピンポイントで水をかけるので、車全体に水を一樣にかける機械洗車よりも使用量は少ないのです。

その結果、快洗Jr.シリーズでの洗車では毎分5.6ℓの高圧水を、マニュアル通りに使えば



5分間使用し、車1台を洗うのに平均28ℓ使うこととなります。一般的な洗車機での洗車では1台当たり80~200ℓ使用のに比べて、水の使用量が圧倒的に少ないことが分かります。手洗い洗車は洗車機に比べて手間と時間がかかりますが、その品質が高いと同時にECOにも貢献する一面を持っているのです。

※1 生分解性(せいぶんかいせい)  
生分解とは、化学物質がバクテリアなどの微生物の作用によって有機物から炭酸ガスや水などの無機物に分解されること。その性質を持つように作られた物質が生分解性物質です。  
※2 アミド基  
官能基の一つで、タンパク質はアミド基による結合でアミノ酸が繋がったものです。人体を構成している主たる生体物質でもあります。